

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和4年6月8日

静岡県知事 川勝 平太 殿

提出者

住所 富士市久沢37

丸井製紙株式会社

氏名 代表取締役社長 井出 浩之

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0545-71-2320

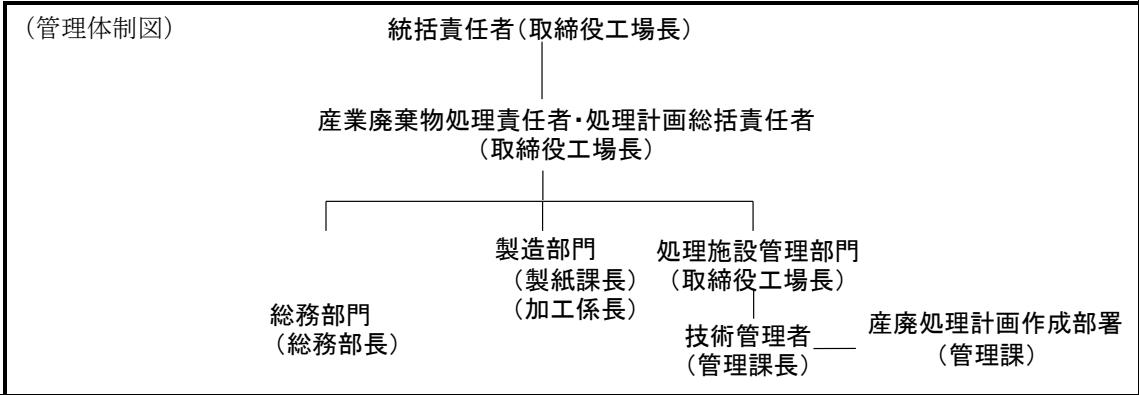
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	丸井製紙株式会社 家庭紙工場
事業場の所在地	静岡県富士市久沢160-1
計画期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	製造業 (パルプ・紙・紙加工品製造業)
② 事業の規模	製造品出荷額 1,193,676千円
③ 従業員数	69名 (正社員56名、それ以外の職員13名)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙参照

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和3年度)実績】							
	産業廃棄物の種類	汚泥(ペーパー・スラッジ)	廃プラスチック類(スカーン箱)	廃プラスチック類(スカーン箱)	廃プラスチック類(塩化ビニール・ポリプロピレン)	木くず*	廃電気機械器具(蛍光灯)	廃電池類(乾電池)
	排出量	94,330 t	91 t	3,120kg	500 kg	0kg	19 kg	45 kg
	(これまでに実施した取組) ①原料故紙の選別を強化する ②製造工程で使う薬品の使用量を極力減らして繊維の微細化を防ぐ ③工程管理を適切に行い繊維の流失を防ぐ							
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	汚泥(ペーパー・スラッジ)	廃プラスチック類(スカーン箱)	廃プラスチック類(スカーン箱)	廃プラスチック類(塩化ビニール・ポリプロピレン)	木くず*	廃電気機械器具(蛍光灯)	廃電池類(乾電池)
	排出量	93,380 t	90 t	3,090 kg	495 kg	1,760kg	18 kg	44 kg
	(今後実施する予定の取組) ①原料故紙の選別を強化する ②製造工程で使う薬品の使用量を極力減らして繊維の微細化を防ぐ ③工程管理を適切に行い繊維の流失を防ぐ							

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 紙くず：上質故紙、新聞、雑誌、ダンボール等に分類してトイレットペーパーおよび板紙原料として使用している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 紙くず：上質故紙、新聞、雑誌、ダンボール等に分類して使用可能なものは使う。また、従業員を教育して完全実施に努める。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項								
①現状	【前年度（ 年度）実績】							
	産業廃棄物の種類							
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量							
	(これまでに実施した取組)							
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類							
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量							
	(今後実施する予定の取組)							
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項								
①現状	【前年度（令和3年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	汚泥 (ペーパー・スラッジ)	廃プラスチック類 (スリット箱)	廃プラスチック類 (スリット箱)	廃プラスチック類 (塩化ビニールパイプ)	木くず	廃電気機械器具 (蛍光灯)	廃電池類 (乾電池)
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ kg	－ kg	－ kg	－ kg	－ kg
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	86,186 t	－ t	－ kg	－ kg	－ kg	－ kg	－ kg
	(これまでに実施した取組) インバーター制御を効果的に使用して脱水機の手回し速度を落とし脱水効率を上げた							
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	汚泥 (ペーパー・スラッジ)	廃プラスチック類 (スリット箱)	廃プラスチック類 (スリット箱)	廃プラスチック類 (塩化ビニールパイプ)	木くず	廃電気機械器具 (蛍光灯)	廃電池類 (乾電池)
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ kg	－ kg	－ kg	－ kg	－ kg
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	85,300 t	－ t	－ kg	－ kg	－ kg	－ kg	－ kg
	(今後実施する予定の取組) ①汚泥の質や発生量を観察して、脱水機の運転方法を研究し、脱水効率を上げる ②脱水機の改造を行い脱水効率を上げる							

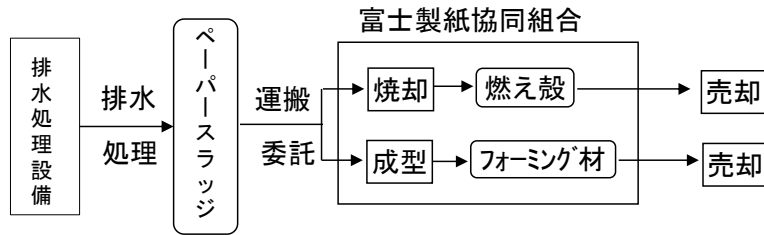
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項								
①現状	【前年度（ 年度）実績】							
	産業廃棄物の種類							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量							
	(これまでに実施した取組)							
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量							
	(今後実施する予定の取組)							

産業廃棄物の処理の委託に関する事項								
①現状	【前年度（令和3年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	汚泥 (ペーパー・スラッジ)	廃プラスチック類 (スクリン粉)	廃プラスチック類 (スクリン粉)	廃プラスチック類 (塩化ビニル・ポリイソブレン)	木くず	廃電気機械器具 (蛍光灯)	廃電池類 (乾電池)
	全処理委託量	8,144 t	91 t	3,120kg	500 kg	— kg	19 kg	45 kg
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	— t	— kg	— kg	— kg	— kg	— kg
	再生利用業者への処理委託量	8,144 t	— t	3,120kg	— kg	— kg	— kg	— kg
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t	— kg	— kg	— kg	— kg	— kg
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t	— kg	— kg	— kg	— kg	— kg
	(これまでに実施した取組)							

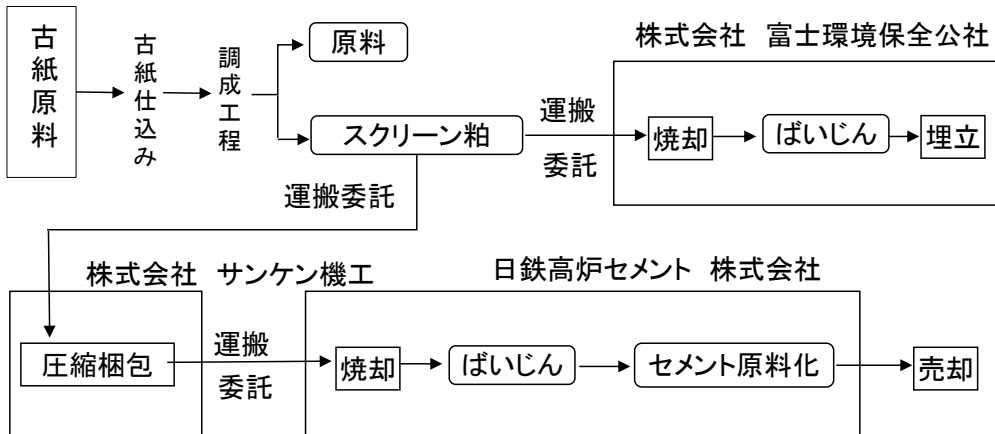
【目標】		産業廃棄物の種類						
		汚泥 (ペーパー・スラッジ)	廃プラスチック類 (スリット箱)	廃プラスチック類 (スリット箱)	廃プラスチック類 (塩化ビニルパイプ)	木くず	廃電気機械器具 (蛍光灯)	廃電池類 (乾電池)
②計画	全処理委託量	8,060 t	90 t	3,080kg	495 kg	1,760kg	18 kg	44 kg
	優良認定処理業者への処理委託量	- t	- t	-kg	-kg	-kg	-kg	-kg
	再生利用業者への処理委託量	8,060 t	- t	3,080kg	-kg	-kg	-kg	-kg
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	-kg	-kg	-kg	-kg	-kg
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t	-kg	-kg	-kg	-kg	-kg
		(今後実施する予定の取組) 廃プラスチック類については燃料化もしくは再生利用の可能性があるか検討していく						
※事務処理欄								

別紙1 産業廃棄物の一連の処理の工程

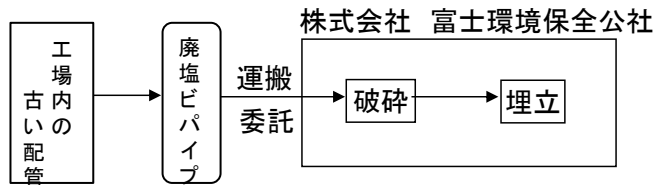
汚泥(ペーパースラッジ)



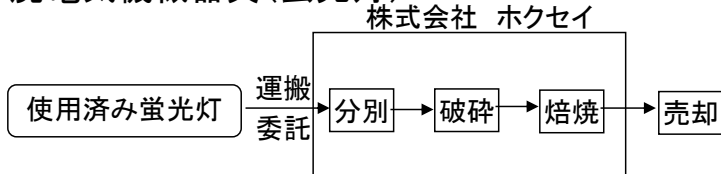
廃プラスチック類(スクリーン粕)



廃プラスチック類(塩化ビニルパイプ)



廃電気機械器具(蛍光灯)



廃電池類(乾電池)

